## 古民家の野外博物館

昭和60年度 第2号

举行 60.11.25。

# 因的的家園だより

川崎市立 日本民家団 川崎市多摩区分形 7-1-1 電話 (044) 922-2180~1

## 完成が待たれる 旧山田家復原

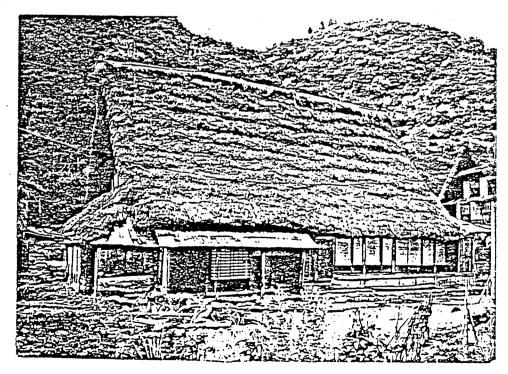
今を去る17年前、秘境越中五箇山から1 軒の家が姿を消しました。ダム工事のため 5 軒あつた桂集落も現在は全くその姿をと どめていませんが、場所を移して民家園内 の旧江向・旧野原・旧山下各家の間にその 姿を再びあらわそうとしているのがこの写 真(移築前)の旧山田家です。『日本民家 園だより』第1号でお知らせしたような 概要の古民家ですが、これにあるとおり富 山にありながら岐阜の特色ももつている 民家で、4つ描えば比較研究・学習など 外傳物館の本領を発揮する格好のものとなることでし

縁側などもなくなり、切妻・平入りの飛 野形合掌造りのような古民家となります。 工事は旧三澤家横に取替材の木造り・古 材の補修などの作業場区域、組立ての建 設区域と 2個所に分けて進行中ですが、 来年 4月には完成し公開する予定となっ ておりますので御期待ください。

なお、建設工事区域はネット・フェンス張りで施工中ですので、珍らしい木部組立てや茅屋根葺き(来年1月下旬より約1ヶ月の予定)の状況もつぶさにこ覧いただけます。

よう。

移築前は 写真のよう に左右側面 に圧をつけ た入母屋浩 り風の一般 的な越中形 合掌造りで したが、復 原調査によ り後世の改 造個所が判 明して、左 石の庇や正 面のトタン 盛り下屋・



旧山田家住宅・移築前



第 2回 三家園協議会が10月23日、旧 山下家学習室で開かれました。

冒頭、園側より20年に亘る古呂家等 の移築・復原の状況、関が行つている 博物館活動や運営管理及び安全対策に ついて説明後、これをうけて関内を担 察し、その後委員からご意見・ご感想 を聞きました。主なものを挙げますと

#### △ 防災体制について

**古民家の集落施設として、20年の** "ふしめ"を迎え、数百年以上に亘 り後世に残していく責務上、この際 抜本的かつ体系的な防災対策を講ず る必要がある。

#### △ 環境整備について

関路等は、現在の来園者のための いわゆる管理動線を区別することが 野外博物館においては、検討課題と なつてくる。

#### △ 民俗資料の保存について

鉄類を使用した民具の錆止めにつ いて最近改良された良い防錆材もで



入園者から寄せられたご意見・ご感 想の中からいくつかをこ紹介します。

- ◎家の中が暗いですね、床上にあがれ ないのが残念です。
- ◎民具がありましたが、昔どのように/

「園からのコメント」

●暗い所はスポット、あんどん等で随処を明るくしています。 ●古民家・民具の説 明効果を高める方法は、今後検討します。 ●古民家等の復原増設は地元保存、敷地 面でむすかしい状況です。●各家の観覧は、文化財のため現行の方法ですすめます のでご選解ください。

きたので今後可能な限り活用した方が 良いと思う。

#### △ 学校教育との連携について

**数師のために、古い時代の生き方や** 生活そのものについて、専門的な案内 書による研修などを行い、生徒への十 分な指導ができるようにしてはどうか

△ ボランテイアの育成について

「昔のくらしを考える会」等の講座 **開設(市民館との連携) が考えられる** が、園には「良い素材」が沢山あると 思う。地域グループ「文化財友の会」 でも何名かの関心ある人の協力も考え られる。

#### △ 今後にむけて

「民家園を何のために作つたのか」 という当初の思想を十分に考慮し、フ イールドミュージアムとしての園の使 命をいかに生かすべきかを常に模索し ていくことが肝要なこととなろう。

以上、協議の一部ですが、委員の熱心 な発言に多くの誤題が示され、大きく羽 ばたこうとする民家園が浮き影りされ閉 会となりました。

- ▶ 使われていたのでしようか。
- のガイドまたは説明テープが聞けるよう にして欲しい。
- ○当時の人物(人形)を置くと、昔の生 活がよくわかると思う。
- 〇中国・九州・四国の民家も集めては・・

# お正月を迎えるための天皇を種シメナワ・オミキのクチについて

#### シメナワの由来

お正月が近づくと、どこの家でも神碕にシメ縄をはり、玄関に玉飾りをつけてお正月を迎える準備をします。シメ縄は本来、神聖な場所を示す境の目田でした。各家庭でも大庭日には一年間の邪悪を払い、新しい年が汚れのない良い一年である事を祈ったのですが、今ではお正月の装飾の様な感じになりましたが、本来は神聖な祈年行事であつたのです。

シメナワ(注連縄) のいろいろ

#### ◎ナワジメ

## ②ゴボウジメ ⇒

神禰の前に張り、シメをつけます。元を 向つて右の方にするのが一般的ですが、 先を家の異に向けて、富や幸福が家に入 るように、という意味に張ることもある

#### 

ゴボウジメと似ていますが、こちらは中央が最も太くなつていま 図 ので、かまどの煙のゆくところへ図の様に縄で吊ります。荒神ジメともいい、宝 船の形にする地方もあります。

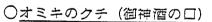
#### ①イチモンジメ (一文飾り)

前に紹介したものに比べ、簡単な飾りのもので、家の各出入口や、物置、馬小

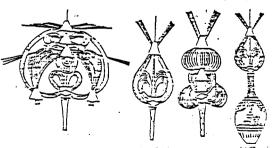
屋、便所などにも吊りさけます。 ワラの先だけ縄にした簡単なもの という意味から「一文飾」と呼ばれたのでしよう。一軒の家で20本 位つくる家もあります。

#### **む**タマカザリ (玉飾り)

これは玄関に飾るもので 最も一般的で、基本的には 「ナワジメ」を丸く輪にし 縁起物をつけたものと考え ればよいでしよう。これを 簡略化したものが門松に掛 ける「ワカザリ」です。



神棚へ神酒を供える徳利の口へさすもので、竹・紙・木・金属などで作られるものがありますが、これは竹を細く裂いてつくるもので、種々の形があります。 原始的と思われるものには、白紙を巻いてさすものや、榊の小枝を用いる事もあり、地域的に特色の多い信仰民具です。



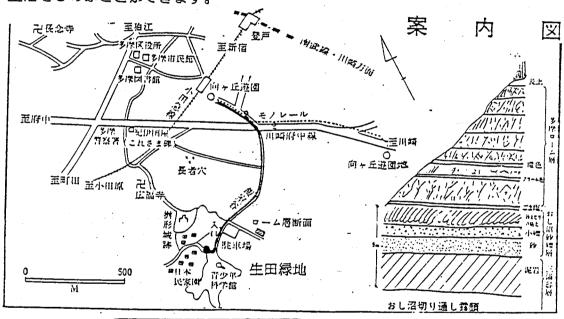
ク ギボシフクジュソウ神師に換える

#### 生田緑地かいわい

生田緑地は、多澤丘陵の一角を占め、広さは433.000歳り、起伏に富む地形を 尺 ぬぎ」「こなら」等の雑木林が覆い、「なんばんぎせる」や「たまのかんあおい」 の野草類もここでは自然のままの姿で見られます。又、昆虫や野鳥類もその種類 が 多く、ここの自然を形成する大切な一員として生育されております。

一方、奈良時代に築営されたと言われる生田長者穴古墳群や鎌倉時代の武将・ 稲 毛三郎宣成の居城址と伝えられている枡形山等歴史的にも興味深いものがあります 生田緑地東門から枡形山へ登る道の所々に削られた島があり、これを見ると多摩 丘陵が生まれてからの歴史を地質学的にも学べる生きた教材でもあります。

この豊かな自然に恵まれた環境のほぼ中央に日本民家園が位置し、約30.000㎡の 中に20軒の百民家等が静かなたたずまいを見せ、内部の民具は、その時代の人々の 生活をしのぶことができます。



瓜あげ

(多澤川原)

#### 第19回 民具づくり教室ーメ現作り 民技会の催し 12月1日・8日(日) 12 民具づくり教室 〇定 員 30名(2日とも参加できる方) シメナワ しめかざり、 〇受課料 無料 三沿 ○申 込 11月7日印から往復ハガキで ●先潜順 15 オミキのクチ 〇内 容 しめかざりのつくり方 严松 サキ承り始め 第12回 親と子の手づくり教室 61年1月19日・26日(日) "小正月行事、 〇定 員 15組 親と子の手作 ○受講科 り教室 オヒツイレ ○申 込 12月15日(日)午前10時から電話で● 先者順

〇内 客 19日:「凤(元)の作)方、26日:ほ上げの仕方

#### 編集後記

民家園だより第2号がで きました。お正月が近づき ましたので、11しめなわ!! \*\*みきのくち\*/の手づくり 特集をまとめてみました。 ぜひこ家族で、グループで 作つてみてはいかがでしよ うか。これからも皆様に親 しまれる「民家園だより」 にしたいと思います。